

(2024年 5月 投稿)

1 : はちみつがもたらす治療効果

はちみつは昔から擦り傷や軽い火傷に効くと言われていますが、科学的にも証明されています。しかも、はちみつ中のある特定の成分が働くと言う訳ではなく、すべての成分が総合的に働くことで良い治療効果を現すことが知られています。

はちみつは主に75%以上の果糖・ブドウ糖と20%以下の水分によって構成されます。まず、はちみつはその高い糖度のおかげで患部を湿潤に保ちます。この性質が痛みを抑えて肉芽形成を早めます。瘡蓋（かさぶた）の乾燥が防がれるため、皮膚の再生が早く進み、治癒のあとに瘢痕が残りません。また、はちみつ中の酵素グルコースオキシダーゼは、天然の防腐剤と呼ばれ、患部の細菌増殖を阻止することが知られています。

空気に触れる部分では、空気中の酸素を過酸化水素に還元します。殺菌消毒材として知られる消毒水オキシドールは過酸化水素水のことです。

花の蜜（ネクター）は実は糖度が低い単なるショ糖液であり、その中のグルコースオキシダーゼは活性を示す一方で、還元糖に変わって糖度が高くなったはちみつ中では不活性のままで維持されています。しかし創傷にはちみつを塗ると、まず高い糖度で最近の繁殖が抑えられ、次いで患部からの滲出液ではちみつが薄められると、グルコースオキシダーゼが再び活性化して静菌効果を発揮します。

グルコースオキシダーゼはグルコースを酸化させ、グルコノラクトンへ変えます。

（グルコノラクトンははちみつ中に特に多く含まれ、はちみつ酸とも呼ばれる。）

グルコノラクトンは創傷からしみ出るリンパ液の水分によって、グルコン酸に加水分解され、創傷治癒に適切な酸度を保つ役割を果たします。蜂蜜にはその外にも傷の回復を助ける抗酸化物質、ミネラル類、ビタミン類が多く含まれます。

このように単一のはちみつには、傷にたいしてまるで同時に多くの治療薬を塗るかのような複合的な働きがあります。創傷の程度によるものの、もう一度その価値が見直されるべきかと思われま

す。

| | | |
|-------------|-------------------|---------|
| グルコース（ブドウ糖） | Glucose | C6H12O6 |
| グルコースオキシダーゼ | Glucose oxidase | |
| 過酸化水素 | Hydrogen peroxide | |
| グルコノラクトン | Gluconolactone | C6H10O6 |
| グルコン酸 | Gluconic acid | C6H12O7 |